

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイSES藤枝校				公表日 令和7年11月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		子ども達が遊ぶスペースが確保できるように配置の工夫をしている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切に配置している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	整理することにより物の場所を変更することがある。移動した場所の共有を図りたい。	物の場所が職員もわからない。片付けを頑張りたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		子ども達が楽しく落ち着いて過ごせるような空間にしている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		着替えやクールダウンなど必要に応じて個室を使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職員全員で振り返り等をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表のご意見を踏まえ、業務改善に繋げている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員の意見を参考に業務改善に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	第三者評価は行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人の年間スケジュールに沿って、研修を行っている。外部研修にも職員全員が参加している。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成し、公表を行っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		アセスメントを適切に行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		子どもの最善の利益を考慮した検討を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有されている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマルなアセスメントやインフォーマルなアセスメントいずれも使用し確認をしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		具体的に支援内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		チームで立案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動プログラムが固定化しないよう工夫を行っている。	

供	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた活動を取り入れ支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い活動の確認をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援終了後も職員間で必ず打ち合わせを行い情報共有をしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々、記録をとり次の支援に繋げている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行っており、目標の見直しや、支援方法の確認をしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供を合わせサポートをしている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子どもの意思を尊重した支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達管理責任者が参画している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関連機関と連携して支援を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		下校時刻等学校と情報共有を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて情報共有と相互理解に努めている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		障害福祉サービス事業所へと情報提供を行ったことがない。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		研修に参加したり、必要に応じて助言を受けている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8		SES内の他の事業所の子ども達と交流がある。児童館等に遊びに行く機会を設けている。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		児童発達管理責任者が参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		お子様の状況を保護者の方に伝えたり、保護者の方からご自宅での課題を教えていただいたりしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		必要に応じてご自宅で取り組んでいただきたい事は、お伝えをしている。	
運営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		ご契約時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		お子様や保護者の方の意思を尊重している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者や本人からの同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて面談や助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	現在保護者会は、必要ないとのご意見もあり、開催していない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		8	苦情があった場合適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8	定期的にお便りを発行し活動内容の報告を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		8	個人情報の取り扱いに十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		8	必要に応じて物の現物を見せたり、絵を描くなど子どもが情報を理解するための環境を整え、活動などを取捨選択ができるようにサポートをしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	年度末に絵画造形展を開催し地域住民を招くなどの働きかけを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		8	マニュアルを作成し、年間計画に基づき訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		8	BCPを作成し訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		8	服薬の確認等を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	必要に応じて指示書をいただき対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		8	安全計画を作成し、安全管理が十分された中で支援が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		8	避難訓練をした場合には、保護者へと報告を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		8	ヒヤリハットを事業所内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		8	長期休暇の前は虐待防止チェックシートを用いて虐待防止を図っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		8	身体拘束については、チームで話し合いを行い、子どもや保護者に説明をしている。	